

入曽地区中学校統廃合検討協議会第9回会議録

- ・開催日時 平成25年3月14日(木) 午後7時～午後8時30分
- ・開催場所 入曽公民館3階ホール
- ・出席者 19名 ※欠席者8名
- ・事務局 生涯学習部長 次長兼教育総務課長 学校統廃合担当課長 同担当主任
学校教育部参事兼教育指導課長
- ・傍聴者 11名

【会議内容】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(委員) 先日、統廃合のことで悲しい事件が大阪でありました。そのことに関して狭山市教育委員会ではどのような話し合いが行われたのか、まずそれを確認させていただきたいのですが。

(事務局) あのような痛ましい事件が起こらないように、学校の統廃合は、皆さんのご協力を得ながら慎重に進めていきたいと考えています。

(委員) あの事件は、子どもを抜きにして話が進められたことが問題だったようですが、デリケートな問題ということで、狭山市でも子ども達を介さない形で話が進められています。子ども達に対しては、どの時点で、どのような形で今後伝えていくつもりですか。

(事務局) 子ども達に対しては、一定の時期をとらえて学校を通じて説明するというのも、一つの方法だと考えています。

(議長) 大人が前向きに伝えられなかったというのは悲劇だと思います。もっと希望をもった形で説明ができていればと思うと残念です。

(1) 学区の見直しについて

(事務局) ——— 配付資料説明 (略) ———

(委員) 九区自治会です。④案では九区の自治会が分断されてしまいますが、学校を選択することは可能なのかといったご意見を何人かからいただいておりますので、そのあたりご検討いただければと思っています。

(事務局) そのような事も含めて、皆さんの中で決めていただければと思っています。

(委員) 資料には書かれていませんが、④案の課題として忘れてならないのは、入間小の統廃合を経験した子が、また友達と別れるという辛い経験をしなければならないということです。そのところは、十分承知しておいていただきたいと思います。

(議長) 九区の件に関しては、事務局から何かありますか。

(事務局) 事務局としては、子ども達が別れないようにすることを考慮して、選択できる形にした方がいいと思っています。

(委員) 南小の一部から山王中に上がることになる場合、中には山王小から山王中に上がりたいと思う子どもも出てくると思います。入間小の統廃合を経験した子ども達については自由選択できるようにして、その子ども達が卒業した後に、入曽地区のそれぞれの小学校区を整備し、それから統廃合を進めるというのは如何でしょうか。

(議長) 全ての区域を自由に選択できるようにするのは、学校運営上好ましくないという話は部会で出ましたよね。

(委員) ただ、統廃合で特例を設けてもらえるという話もありましたし、統廃合は何年か先を見据えたうえで進めた方がいいと思いましたが…。入間小の時にも、そういった視点があれば、今回のように二度も統廃合を経験するようなことは避けられたと思いますので、学区の整備はきちんとしておいてもらいたいと思います。

(事務局) 小学校区に関しては現時点では何とも言えません。

線路の東側の山王中が指定校となるエリアに特別許可地区を設けることは考えていますが、住んでいるエリアに関わらず、入間小の統廃合を経験した子は自由選択できるようにするという形は考えていません。

(委員) 私としては、線路で学区を分けるという考えはありません。ただ、新たに学区をきちんと整備してもらいたいということです。

(事務局) 学区に関しては、将来的に課題が生じれば、全市的な再編ということも考えなければならないと思っています。

(委員) 今日の検討協議会の議題は、④案で決まった学区部会の結論を承認するか否かですよね。また、一から学区を検討するような話では、いつまで経っても決まらないですよ…。

(議長) もちろん、その通りです。あくまでも④案ということで、そのうち線路の東側の山王中が指定校になる区域については、特別許可地区を設けて、入間野中も選択できるようにするということです。

(委員) 御狩場小から来た入間野中の在校生については、統合したら山王中に移ることになりますが、希望をすれば、入間野中にそのまま残って卒業することも可能という理解でよろしいですか。

(事務局) その方向で考えています。

(委員) 御狩場小から来た入間野中の在校生については、弟や妹が山王中に行くというケースも想定されますので、人数的には少ないと思います。が、学年の途中で山王中にも移れるようにしておいてもらいたいです。

(事務局) ちなみに、上のお子さんと同じ学校に下のお子さんが通うことは、地域指定校外就学基準の中で認められています。

(委員) 要は、どっちの学校でも選択できるということですよ。

(委員) 一旦お預かりした生徒さんは、卒業まで責任をもってみさせていた
だきたいという思いはあります。

(委員) その言葉、人間中にとっては、とても苦しいです…。

(議長) 校長先生の立場もあると思いますが、あくまでも当事者の希望によ
るとのことですよね。

(委員) ④案の場合、半々の人数ならまだしも、南小の一部の子ども達が山
王中に行くわけですよね。そのことに関しては、私の経験上あまり良
いこととは思えません。

もう③案には戻れないわけですか。

(事務局) ④案になる場合でも、線路の東側については入間野中を選択するこ
とも可能にしたいと考えています。

(委員) ③案の逆選択というのもありますよね…。全員入間野中に行くけれ
ど、一部は山王中に行ってもいいよという形です。

校長の立場としては、学校経営上、南小は分かれられない方がいいと考
えていますので、学区部会の結論は尊重しなければならないと思いま
すが、あえて③案の逆選択という形を提案させていただきたいのです
が…。

(事務局) 学校経営的な面は教育委員会としても重々承知しているつもりです。
ただ、学区部会で出された結論を尊重する意味においても、両校とも
適正規模の確保が期待できる④案をベースに検討していただければと
思っています。

(議長) 実際のところ、卒業したら中学が別々になる小学校はあるわけです
よね。

(事務局) 小中連携の重要性は教育委員会としても十分認識しているつもりで
す。南小の校長先生にとりましては不本意かと思いますが、選択でき
る余地を残したということで御理解いただきたいと思っております。

(委員) 線路西側の三葉台やセンチュリーの子ども達も山王中に行けるよう

な形にはならないでしょうか。

(事務局) 線路の東側だけを考えています。

(委員) 九区でも選択できる子とできない子がいるということですね。

(事務局) はい。

(委員) 線路の東、西は関係なく、統廃合による何らかの特別な事情があれば、多少の選択はできる、融通をきかせていただけるという理解でいたのですが…。

(事務局) 現状の基準においても、指定校変更の必要があると認める事由があれば、指定校外の学校に通うことを許可しています。基本の学区は決めさせていただきますが、特別な事情があれば、指定校外の就学を認めるということです。

(委員) その特別な事情を、統廃合を理由に多少なりとも幅広くみてほしいという思いはあります。

(事務局) 一度整理したいのですが、同じ地域指定校外就学基準でも、特別な事情を認めるということと、特別許可地区を設けるということは分けて考える必要があると思います。特別な事情を認めるケースについては、特別許可地区とは違いますので、適用されるエリアが限られるということはありません。

(委員) 少ない人数で山王中に行くことは避けたいという思いが南小の保護者としてはありますので、線路の東側に特別許可地区を設けたとしても、入間野中を選択してしまう人がほとんどだと思います。それはそれで仕方がないということですか？それだったら、特別許可地区の範囲をもっと広げておけば、山王中の生徒数が増える方向につながると思うのですが…。

(事務局) それはおっしゃるとおりだと思いますが、踏切の道が狭いという状況もありますし、住んでいる所に関わらず、特別な事情があれば山王中への通学を認めるということもありえますので、一概には言えない

と思っています。

(委員) そういう特別な事情があれば認められるということは、保護者にちゃんと伝えていただけるわけですね。

(事務局) そういった地域指定校外就学基準があるということは、お話しします。

(委員) 南小の子ども達が分散することは悲しいです。私としては子ども達に説明する責任がありますが、せっかく小学校の統廃合を機に一緒になった子ども達に対して、どう説明しようかって正直悩んでいます。

自由学区や選択学区というのも、今はなくす方向にあると思いますし、そういった自由選択制は、一旦認めてしまうと、どんどん広がっちゃうだけで、いざ整理しようとしてもなかなか難しいですよ。

③案と④案は一票差ですが、③案の効果と④案の課題を比較して④案が選ばれたのであれば、それは私には説明できません。

(事務局) ④案が最も支持を集めた理由は、山王中の小規模な状態も解消させたいということです。ただ、保護者からの意見などもありましたので、あえて特別許可地区を設けさせていただくということです。

(議長) 部会の委員の皆さんは、学校規模の適正化を図ることを目的とする基本方針をよく理解しているなど、私としては率直に感じました。やはり入曽地区全体を見て、同じような教育環境を実現するというところで④案が選ばれたのだと思います。

(委員) やはり山王小の1年生から入れる形で学区編成を組んでいくべきではないですか。そうしておけば、④案でも南小の子ども達が別れるということはないわけですね。将来的にとか言いますが、そういった言い方であやふやにしないでもらいたいですし、先が見えないから親は不安なわけですね。

(議長) 答申を出す時に、付帯条件として、小学校のことも併せて考えてほしいということはいれられると思います。ただ、今は中学校をやっているわけですので…。

(事務局) ここは中学校の学区を検討する場ですので、ここで小学校の学区も再編成して結論を出すということまでは考えていません。ただ、皆様からいただいたご意見は貴重なものですので、今後の参考にさせていただきたいと考えています。

(委員) 保護者としては、兄弟姉妹の関係がありますから、小学校は小学校、中学校は中学校と分けて考えることはできません。中学校のことだから小学校のことは考えませんというのは如何なものでしょうか。

(事務局) 考えませんということではなくて、ここは中学校の統廃合を議論する場ですので、ここでは小学校に関しての結論は出せませんということです。

(委員) 先ほどの校長先生のお話ですが、お気持ちはよくわかりますが、統廃合の問題に関しては、感情論が入りますと何も決めることができません。多少無理が出るのは当然ですし、これを子ども達に押し付けるのかでは何もすることができなくなります。④案が選ばれたことに関しては、いろいろな点から観ても合理的だと思いますし、学区部会で出された結論は、やはり尊重すべきだと思います。

それと、特例を認めると言いますが、そういった事を認めてしまうと、いろいろなのが出てきて、ますますややこしくなりますよ。だから、統廃合に関する特例と言っても、具体的にどういうものがあるのかよくわかりませんが、設けるとしても基準をしっかりと決めて、なおかつ最小限に絞らないと、ああしてくれ、こうしてくれと次々に出てきちゃうでしょうから、そのあたりは事務局に踏まえておいていただきたいと思います。

小学校の問題は確かにここで結論を出すわけにはいかないですし、そういう議論の方向性では、いつまで経っても終わらないと思います。

(議長) それでは、学区につきましては④案ということですが、線路の東側の山王中が指定校になるエリアについては、入間野中にも行けるようにするというところでよろしいですか。

(「はい」の声あり)

(議長) それでは学区につきましては、そういうことでお願いしたいと思います。

(2) 統合の時期について

(事務局) ——— 配付資料説明 (略) ———

(委員) 平成 27 年 4 月に統合するまでの流れを説明していただきたいのですが…。

(事務局) 遅くとも平成 26 年の 3 月議会までに議決を得たいと考えております。それまでに、教育委員会の議決など内部の手続きが必要となりますので、統廃合計画の提言書につきましては、今年秋頃を目途に検討協議会でまとめていただきたいと考えています。提言書のとりまとめに向け、今後は、保護者など関係する方々に対して説明会を開催し、通学路や環境整備などに関する意見や要望をお伺いしていきたいと考えています。そして、市議会の議決を得てからの一年間で、統合に向けた協議や調整を学校間で行っていただきたいと考えています。

(委員) 通学路の事などは、議会で議決する前の段階で決めるのですか。

(事務局) 統廃合計画ができない限り議会には出せませんので、それまでに決められるものは決めたいと考えています。

(委員) 今後、より良い統合を行うために、これだけの予算を取ってほしいといった要望が出てくると思いますが、そういった要望は、いつまでに出せばいいのですか。

(事務局) 次年度の予算編成は例年 10 月頃から始まります。アンケートなどで寄せられた要望については、最大限、統廃合計画に反映していきたいと考えていますし、市長からも予算付けについては確約をいただいています。

(委員) 26 年度の予算に間に合わなくても、27 年度でやってもらうといったことは可能ですか。

(事務局) 可能性はあると思います。

(委員) アンケートの対象は？

(事務局) 今のところ南小や御狩場小を考えています。

(議長) アンケートでは、どんなことを聴く予定ですか。

(事務局) 通学路の危険箇所や学校の整備などに関してお伺いしたいと考えています。入間小の時は、学校運営についてもアンケートを聴取しました。

(委員) 私は平成12年に他市で学校統合を経験しました。その頃は、まだゆとり教育だった頃の指導要領だったせいか、両方の学校でアンケートを取った結果としては、学力向上、体力向上を求める声よりも、パソコンや英会話などの要望が多かった記憶があります。

入間小の統廃合の時は、通学路の要望が多く出ていましたが、道路の拡張など、なかなか簡単にいかない面はあると思います。アンケートを取る場合、ソフトの部分は学校で、ハードの部分は行政でといったように、役割を分けた方がいいのかなと思っています。統廃合のアンケートについては、学校と行政ですり合わせた上で効率的に行えればいいと思っています。

(議長) 教育内容や学校の運営方針を含め、統合校がこんな学校になるといったような希望を抱かせるようなものを示すことができればいいと思っています。

(委員) 統廃合というと、どうしても心配事というか、話が後ろ向きに先走ってしまう嫌いがありますが、もともとは人数を多くして教育環境を良くしようということですよ。中身を読んだら気分が暗くなっちゃうような回答ばかりというのもどうかと思いますので、記載する側が前向きな気持ちになれるような、そんなアンケートになるように工夫してみてください。

(委員) アンケートは誰に対して行うのですか。

(事務局) 保護者に対して行う予定です。

(委員) 子どもにはしないのですか。

(事務局) 子どもに行う予定はございません。

(議長) 今後の検討協議会は、どのような形で進むことになりますか。

(事務局) 統廃合計画が策定されるまでが任期となっておりますので、25年度で変わられる委員さんもいらっしゃると思いますが、引き続きご協力をお願いしたい所存です。

(議長) それでは、統合の時期は平成27年4月ということによろしいでしょうか。
何か他にご意見はありますか。

(事務局) 学区部会の話に戻りますが、④案は、あくまでも基本路線であって叩き台であります。線路で線引きするというのは一つの案であって、自治会などの観点から、境目は線路ではなくて、こっちの方がいいといった意見があれば出していただければと思っています。

(委員) 適正規模を第一に考えて④案というのは解かります。ただ、学級数としては、それほど③案と④案で差はないですね。南小の校長の立場としては、どこで線引きされようと、それは違うと思っています。

(議長) ④案にすれば、山王中は明らかに増えますよね。

(委員) ただ、③案でも④案でも最終的には、さほど学級数は変わらないですね。ですから、どこを基準にして学区部会で適正規模を考えたのかが、よくわからないのです。

(議長) でも、山王中の人数の縮小化は明らかに止まりますよね。

(委員) 生徒数じゃなくて学級数は、それほど変わらないですね。
学区部会で決まったのであれば仕方ありませんが、南小の校長は線なんか引きません…。以上です。

(議長) 統合の時期については如何ですか。

(委員) 当初の予定より一年遅れるようですが、無理して早くやるというのも良くないですので、平成 27 年 4 月統合という事務局の提案でよろしいかと思います。

(議長) それでは、平成 27 年 4 月の統合に向けて進めていくということで、決めさせていただきたいと思います。

(3) その他

(事務局) 本日、学区が決まりましたので、学区部会は先日行われた第 5 回をもって終了させていただきたく存じます。

南小に設置してありますご意見箱につきましては、今後も継続して置かせていただく予定です。皆様から寄せられた意見のなかには、学区と統合の時期が決まった場合、卒業式までに知らせてほしいという内容のものもありましたので、至急保護者あてにお知らせしたいと考えています。

(委員) お互いの PTA や生徒会、部活動などで話し合いの場を設けたい時は、校長先生にお任せすればよろしいのでしょうか。

(事務局) それはケースバイケースになるかと思います。

(委員) 入間中の PTA は、入間野中の PTA と山王中の PTA と話し合いの場をもつ必要があると思いますが、そういう調整も、教育委員会ではなく PTA にお任せということですか。

(事務局) PTA など学校と保護者をお願いするものもあれば、教育委員会で調整するものもあると思います。

(委員) すり合わせのために残された 2 年間という期間は長いようで短いので、時間を有効に使えるように考えてください。親も頑張りますので…。

(議長) いずれにしましても、行政と保護者が協力していかなければ良い統合はできないと思いますので、よろしくをお願いします。

(委員) 南小の校長として、とくに保護者の方をお願いしたいのですが、入間野中は駄目だとか、山王中は駄目だとか、そういう言い方は絶対に避けていただきたい。南小は駄目だって親から何年も言われ続けた入間小のお子さんが、南小に来ました。そういうふうと言われ続けたお子さんは、どうなると思います…？その子は4月に南小に入ってきて、いきなり南小の校長は駄目だって言うわけですよ。何年間も駄目だ、駄目だって言われ続けたら、子どもはどうなりますか…。

夢のある新生入間野小、新生南小でスタートしたはずなのに、足を引っ張るわけですね、誰が？…周りの大人です。皆さんにぜひお願いします。入間野中も山王中も良い学校だって、褒めてあげてください。

(委員) マイナス面ばかりを強調するのではなく、プラス面を生かすことが大事なことだと思います。この統廃合も、前向きな方向で議論していければいいと思っています。

4 閉 会

【配付資料】

- ◆ 検討協議会第8回会議録
- ◆ 学区部会第5回会議録
- ◆ 入曽地区中学校統廃合検討協議会学区部会の検討結果
- ◆ 統合後の通学区域図
- ◆ 統合後の生徒数・学級数推計表
- ◆ 統合の時期について